令和７年度全国統一防火標語

「急ぐ日も
足止め火を止め
準備よし」

# たかつき消防団だより

消防団に関する詳しい情報は　高槻市消防団　検索

第　71　号
令和７年６月15日
発　行
高槻市桃園町4番30号
高槻市消防団
電話　674－7980

## 消防長就任挨拶

高槻市消防長
**田中　栄二**

初夏の候、消防団の皆様には益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、各地域において献身的な消防団活動に御尽力いただき、心より感謝を申し上げます。

さて、この度、4月1日付けをもちまして、高槻市消防長に就任いたしました。微力非才の身ではございますが、消防の使命達成に誠心誠意努力していく所存でございますので、前任者同様、御支援と御協力を賜りますよう、ひとえにお願い申し上げます。

本年に入ってからは、岩手県大船渡市、愛媛県今治市、岡山県岡山市の各地で相次いで林野火災が発生しました。長期の活動となり、林野火災の厳しさや恐ろしさを、改めて思い知らされることになりました。

本市においては、森林面積が総面積の約44％を占めており、決して「対岸の火事」ではありません。大船渡市の林野火災では、避難指示が出され、市民が早期に避難されたのは、東日本大震災を経験されたからと聞いております。

地域の防災意識の高さと過去の教訓を生かしつつ、今後の発生が懸念される、あらゆる災害等に対処するため、消防防災体制の整備を目指さなければなりません。その取り組みとして、運用を開始しました中消防署富田分署・消防団拠点施設が、日々進化する災害への対応力と、知識・技能を備えた人材育成の場として、大いに機能することを期待しております。

また、市民の負託に応えるためには消防団と消防本部の強固な連携が必要不可欠であり、共に目的に向かって一致団結し、市民の生命・身体・財産を守るという消防の責務に応えていく所存であります。消防団員の皆様におかれましては、今後とも、より一層の御支援と御協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

結びに、高槻市消防団の益々の御発展を祈念いたしまして就任の御挨拶とさせていただきます。

## 消防長退任挨拶

前高槻市消防長
**原田　辰幸**

初夏の候、消防団員の皆様におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は市民の安全・安心を確保するため日夜消防団活動に御尽力いただきまして深く感謝申し上げます。

さて、私ことではありますが、令和7年3月31日付けをもちまして消防長を退任することとなりました。昭和58年4月1日に消防士を拝命し、42年間の長きにわたり消防の職に身を置き、ほんの一端ではありましたが、社会の安全に寄与する仕事を担当できたことを喜んでおります。また、消防長に就任した令和4年からは、高槻市においては大きな災害もなく、平穏に職責を全うでき、皆様が日頃から地域に密着した活動にご尽力頂きましたおかげであります。皆様方をはじめ関係各位の温かい御支援と御協力のおかげと感謝申し上げますとともに、厚く御礼申し上げます。

令和5年からは、2ヵ年の事業として進めて参りました、高槻市消防団拠点施設の整備が昨年10月に完了し、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に向け一歩前進したものと思っております。

地球温暖化で世界的に山火事が多発しておりますが、日本国内でも平成以降で最大規模という林野火災が本年2月に大船渡市で発生しました。メディアを通じて「火のある限りは寝ていられない」と消防団員が奮闘している姿を拝見し、危険を顧みず、地域の人々を守る姿に心を打たれました。

高槻市においても、消防機関が市民から期待され、安心して任せられる存在であり続けたいと思っています。市民の皆様の負託にお応えできるよう、消防職・団員が一丸となり、消防体制の充実強化に取り組んで頂ければと思います。

末筆ではございますが、高槻市消防団の益々の御発展と団員各位の御健勝を祈念申し上げまして退任の御挨拶とさせていただきます。

## 淀川河川敷　鵜殿のヨシ原焼

五領分団　萩之庄班
班　長　**河野　哲也**

令和7年2月23日(日)鵜殿のヨシ原焼が実施されました。

ヨシ原焼は、ヨシ原の害草・害虫駆除といった保全を目的に実施されています。

五領分団は点火時の安全確保と点火終了後の残火処理や周辺警備を実施し、その中でも萩之庄班は上流側の周辺警備、延焼箇所の確認を担当しました。

9時より点火を開始すると、ゆっくりと燃え広がり始めました。燃え広がっていく途中、風の影響でヨシ原焼きの区域外へ延焼しようとする箇所が数か所見られましたが、過去の経験から消防本部の方々や我々消防団等が事前に消火の準備を行なっていた為、直ちに消火を行い、延焼を食い止める事が出来ました。

点火作業が終わり、全体に燃え広がったところで、ジェットシューターを使用して残火処理を行いました。作業中、時折風が強く吹き、一度消えたと思っていた箇所が再度くすぶり始めるなどありましたが、必要以上に時間を要する事は無く無事に終了しております。

## 方面隊訓練に参加して

樫田分団　中畑班
班　長　**佐藤　央巳**

令和7年3月2日、高槻市中消防署富田分署・消防団拠点施設において、樫田分団と清水分団による方面隊訓練が実施されました。

今回の訓練は建物火災を想定して、消火栓からポンプ積載車の吸水管を使用して給水し、ポンプで圧をかけて訓練建屋へ放水をするというものでした。訓練が始まると地下式消火栓のフタを足に落とさないようにするなど注意点を教わりながら、吸水管を消火栓につなぎ、合図に合わせてバルブを開く担当や、筒先を持って訓練建屋めがけて放水する担当など、参加車両すべてが実施できるよう繰り返し行いました。

共に訓練した清水分団の皆さんは建屋に近い地下式消火栓でしたが、樫田分団は少し離れた地下式消火栓からでしたので、ホースを5本つないで放水しました。地面から消火栓までの深さもそれぞれ違い、臨機応変に対応する重要性を感じました。

放水が終わり、消火栓から吸水管を外す際は、外し方がわからず苦労しましたが、他の団員の方から教わり何度か体験して覚えることができました。この訓練は実際に初期消火の場面に直結する、意味のある訓練だったので、非常に有意義な経験ができました。

# 表彰

## 消防庁長官表彰 永年勤続功労章

伊藤　昭久（団本部）
髙島　良博（大冠分団本部）
西村　裕幸（富田分団本部）

## 大阪府知事表彰 消防勤続功労章

泉　あけみ（団本部）
川居　達志（高槻分団本部）
田中　雄一（磐手分団本部）
田中　邦俊（川久保班）
田村　貞博（杉生班）

## 消防功労章

杉野　仁哉（高槻分団本部）
圓實　純（五領分団本部）
黒田　義幸（道鵜班）
大黒　幸喜（別所班）
杉本　文夫（川久保班）
宮本　卓磨（阿武野分団本部）
田中　治之（奈佐原班）
西村　健一（清水分団本部）
三宅　正樹（原班）
髙木　伸二（津之江班）
赤木　大介（三島江班）
八木　隆志（富田分団）

## 日本消防協会長表彰

・優良消防団表彰
表彰旗　高槻市消防団

・精績章
川上　敏弘（団本部）

・勤続章
西本　章（萩之庄班）
平野　和博（安満班）

## 大阪府消防協会長表彰

・功績章
西城　茂治（樫田分団本部）

・永年勤続章
泉　あけみ（団本部）
久野　京子（団本部）
宮西　康成（高槻分団本部）
森本祐記夫（高槻分団）
輕墓　祥行（芥川分団本部）
安井　勝彦（芥川分団本部）
福岡　博典（安満班）
濱田　佳宏（安満班）
小野　大介（成合班）
今道　浩史（清水分団本部）
横山　和浩（西之川原班）
中谷　真浩（萩谷班）
井川　勲（萩谷班）
森田　義久（萩谷班）
久保田茂幸（下田部班）
栗田　貴司（芝生班）
吉彦（津之江班）
田中　伸司（庄所班）
屋敷　卓（神内班）
和久田雅彦（安満班）
中野　英樹（山手班）
岩　克樹（成合班）
田中　秀和（氷室班）
松田　敦樹（西之川原班）
入江　英彰（宮之川原班）
岡田　勝志（塚脇班）
橋長　亘（野田班）
横山　太一（津之江班）
荒谷　竜治（庄所班）
久保　充弘（西面班）
安井　智一（柱本班）
伏見　能成（出灰班）

・勤続章
小野　博実（安満班）
金馬　孝雄（別所班）
山本　雅一（清水分団本部）
古藤　章（大蔵司班）
杉山　徹（真上班）
樋口　信博（芝生班）
上田　浩一（唐崎班）
千舘　哲也（柱本班）
江藤由紀子（団本部）
影山　孝幸（芥川分団）
田中　薫（道鵜班）
竹中　堅二（山手班）
森田　智彦（別所班）
宮出　龍介（古曽部班）
岸田　勝彦（塚原班）
信康（岡本班）
大川　知己（真上班）
加門　大輝（大塚班）
谷山　真也（辻子班）
西口　雅也（芝生班）
川上　順平（宮之川原班）
坂　和博（塚脇班）
西川　知己（真上班）
大川　信康（岡本班）
岸田　勝彦（塚原班）
宮出　龍介（古曽部班）
森田　智彦（別所班）
竹中　堅二（山手班）
田中　薫（道鵜班）
影山　孝幸（芥川分団）
江藤由紀子（団本部）

・勤功章

## 消防団長表彰

・精績章1号表彰
河野　幸記（山手班）

・精績章2号表彰
氏原　順一（西之川原班）
古藤　友一（大蔵司班）
中井　善宣（柱本班）
川端　正彦（庄所班）
赤木　大介（三島江班）
中井　善宣（柱本班）
石原　慎隆（富田分団）
北舎　亨（田能班）

・精勤章
森川　恵子（団本部）
中田　茂晴（高槻分団）
安田　幸平（神内班）
安盛　啓史（別所班）
山田　泰正（古曽部班）
久保　一郎（土室班）
岸田　進（成合班）
山本　隆弘（奈佐原班）
渡邉　真（真上班）
高谷　正彦（西之川原班）
谷知　秀人（原班）
西田　健（原）
九鬼　博（野田班）
吉川　貴与（冠）
水谷　誠（芝生班）
高木　俊尚（津之江班）
松岡　一輝（唐崎班）
中井　亮（三島江班）
岡島　充（富田分団）

# 人事異動

## 昇任者

団本部
班長　久野　京子
班長　根本　隆子
班長　小椋りさ子

高槻分団
分団長　宮西　康成

五領分団
班長　安宅　賢

副分団長　森本祐記夫
部長　辻野　知宏

磐手分団
班長　田村　智哉
班長　河村　伸
班長　井上　長博
部長　坂井　寿豊
班長　西村　雅郎
班長　岩　克樹

## 入団者

阿武野分団
副分団長　日野　建次
部長　寺川　孝之
班長　坂井　友次
班長　中村　清考
班長　秀樹

清水分団
班長　氏原　順一
班長　福岡　正博
部長　中濱　博

大冠分団
分団長　髙島　良博
前田　浩治
井上　忠宏

令和7年4月1日付

副分団長　長谷川忠良
副分団長　河村　正
副分団長　長束　重志
部長　森　憲夫

如是分団
副分団長　岸田　祐和
副分団長　横山　仁志
班長　松田　功次
班長　林　良典
班長　谷口　多聞
班長　田中　伸司

樫田分団
班長　石田　聡志

令和7年4月1日付

高槻分団
中村　祐輔

五領分団
梶原班　福本　武久
萩之庄班　尾本　保昌

阿武野分団
氷室班　久保田修之
宮田班　小原　良太

清水分団
宮之川原班　堀　博行
宮之川原班　高谷　大輔
原班　谷知　雅文

大冠分団
冠班　松山　守
須賀班　中　健太郎
東天川班　森田　展正
大塚班　長束　賢志

如是分団
西五百住班　西田　雅彦
西五百住班　久保　了一

令和7年4月1日付

## 機能別入団者

磐手分団
日下部道雄

阿武野分団
田中　秀和

清水分団
志　隆一

## 退団者

大冠分団
髙島　良博
前田　浩治
井上　忠宏

令和7年4月1日付

三箇牧分団
唐崎班　上野　康弘

令和6年12月29日付

阿武野分団
分団本部　東　輝夫

令和6年12月31日付

団本部
泉　あけみ

高槻分団
分団本部　米山　利治
深谷　昌史

芥川分団
臼井　秀典
平城　昌彦

五領分団
道鵜班　日下部道雄

磐手分団
分団本部　本田　真吾
安満班　魚井　啓瑞
山手班　岩　隆志
成合班

阿武野分団
機能別　坂井　弘之
機能別　畑中　章
氷室班　田中　秀和
宮田班　清水　順一
宮田班　加藤　法壽

清水分団
機能別　仁部　武
大蔵司班　柴田　純一
萩谷班　志　隆一

大冠分団
分団本部　髙島　良博
分団本部　前田　浩治
機能別　小阪　和人
大塚班　奥野　禎久
大塚班　寺本　浩伸
東天川班　井上　忠宏

如是分団
芝生班　樫村　幸彦
芝生班　栗田　貴司
芝生班　阪本　嘉彦
芝生班　水谷　誠
芝生班　栗田　学
芝生班　阪口　純一
西五百住班　福谷　竜士
庄所班　好田　裕彦
庄所班　岡田　隆男
庄所班　井上　茂義
庄所班　川端　正彦
庄所班　横山　直樹

樫田分団
機能別　田村　善治

令和7年3月31日付

## 令和6年度幹部科分団指揮課程について

富田分団　分団本部
部長　笹井　仁志

先ず、幹部科分団指揮課程研修受講の機会を与えて頂きました関係各所の皆様に御礼申し上げます。講習に携わって頂いた皆様、ありがとうございました。

さて、急を要し不安定な火災現場においてつい見落としてしまいがちな団員の安全管理の重要性について講義をして頂きました。また「消防団と地域防災」という講義では、従来の火災出場に加えて地域の防災活動の任が課せられ単なる災害救助活動だけでなく、自助・共助・公助・減災について重要性の周知と自治体・住民との連携体制の構築が必要と説いておられました。従来の消防団活動とは一線を画すとても重い任務であり、難しい活動だと思いました。

改めて、講習に関わって下さった関係各所の皆様、ありがとうございました。

## 消防ポンプ自動車・小型動力ポンプ更新

清水分団　萩谷班
班長　藤　恵一郎

この度、清水分団萩谷班におきまして、消防ポンプ積載車・小型動力ポンプの2点を更新させていただきました。

以前の消防ポンプ積載車及び小型動力ポンプ老朽化と修理部品の確保が難しいとの事で更新を実施させていただきました。新車両は軽自動車タイプの為、山間部の狭い場所でも対応できる様になりました。こちらの新装備を用いて、今まで以上に地域の方々の生命・財産を守れる様に、日々の訓練に精進して参りたいと思います。

最後にこの度の更新にあたり、御理解と御協力頂きました萩谷自治会を始め、消防本部関係各位の皆様のお力添えに心から感謝申し上げます。

## 令和6年度主力機械特別点検結果について

団本部　副団長
総括　川上　敏弘

小型動力ポンプのバッテリー不良が1件ありました。車両のバッテリーも含め定期的に点検を行い、特に冬季は気温低下による性能低下になりやすい為、注意して下さい。

使用頻度が少ない機器（ハンドマイク、無線機等）についても定期的に点検をし、常に使用できる状態にしておいて下さい。尚、不良機器は修理等処理済みです。

## お知らせ

活動服が新しくなりました

新しい活動服

## 謹んでお悔やみ申し上げます。

令和六年十二月二十九日
三箇牧分団　唐崎班
団員
故　上野　康弘　様
享年六十二歳